

報告事項カ

鳥取県家庭教育推進協力企業400社達成及び企業懇談会の概要 について

鳥取県家庭教育推進協力企業400社達成及び企業懇談会の概要について、
別紙のとおり報告します。

平成23年2月3日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

鳥取県家庭教育推進協力企業400社達成及び企業懇談会の概要 について

家庭・地域教育課

1 鳥取県家庭教育推進協力企業400社達成について

企業・従業員をあげて家庭教育の充実に向けた職場環境づくりのため、自主的に取り組む企業と鳥取県教育委員会が協定を結び、協力しながら鳥取県の家庭教育を推進する制度。平成17年10月に創設され、平成20年8月、全国知事会で優良政策として表彰された。

今年度新たに160の企業・事業所と締結し、累積協定締結企業が413社となり、今年度目標の280社を大きく超えた。

(1) 地区別協定締結企業数(実数)

東部	中部	西部	計
184社	126社	91社	401社

(2) 年次別協定締結企業数(累計)

H17	H18	H19	H20	H21	H22	計
5社	57社	64社	58社	69社	160社	413社

(注) 実数と異なるのは倒産等による解約が12社あったため

2 鳥取県家庭教育推進協力企業懇談会の概要について

(1) 期日・場所・参加企業数

	期 日	場 所	参加企業
東部	1月26日(水)	県庁第2庁舎	19社
中部	2月4日(金)	中部総合事務所	19社(予定)
西部	1月25日(火)	西部総合事務所	12社

(2) 懇談会の主な内容

<鳥取県家庭教育推進協力企業制度について>

- ・ 参観日等に参加しやすくするため、時間単位や半日単位の休暇制度を設けた。優秀な人材が長く働けるようにしたい。人づくり、郷土づくりに貢献したい。
- ・ 従業員の子どもが親の職場を見学する「子ども参観日」は子どもたちが親の仕事内容を知るだけでなく、従業員の意識改革につながり効果があった。また、企業が連携して「子ども参観日」を行うと、子どもたちが様々な職業を知り、将来を考えるよい機会となる。
- ・ 育休をとった男女でイクメンプロジェクト(男性がかっこよく育児をするための商品提案)を行い、売上増や社内風土改革につなげている。
- ・ 主に子ども連れの家族を対象とした工場見学をしたところ、多くの子どもたちが興味を持ち、企業のイメージアップにつながった。
- ・ 企業文庫が定着し、従業員が本を借りて、子どもに読み聞かせ等を行っている。

<鳥取県の教育のあり方と企業との連携方策について>

- ・ 職場見学、職場体験学習、インターンシップがキャリア教育の充実につながっているの
で、今後も協力したい。出前授業を一部の学校に行っていてやっているが、子どもたちが興味を持ってくれるので、いろいろな学校に紹介してほしい。

出前授業していただける企業を3月の校長会で紹介する予定。

- ・ ケータイの問題など家庭教育について、PTAや学校から家庭に働きかけるだけでなく、企業内研修で従業員に働きかけてはどうか。

企業が行う研修会に講師を無料で派遣。